

事務事業名		審査支払い事務		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業		
政策体系	政策名	017 自立した行政経営の確立		事業期間		
	施策名	311 健全な財政運営の推進				
	基本事業名	022 効率的・効果的な財政運営		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～)		
根拠法令		地方自治法、地方自治法施行令、大船渡市財務規則等		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
所属	部課名	会計課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 <input checked="" type="radio"/> E 一般(A～D以外)		
	課長名	佐藤 力也				
	係名	審査係	電話			27-3111
	担当者	藤原明美	内線			132
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市の各課等、水道事業所、気仙広域連合、一部事務組合から提出された支出命令書等の審査・確認を行う事務。 ・債権者への支払い事務。 主な業務は次のとおり。 ①各課からの支出命令書の回付、②審査係による審査確認(条例や規則、予算に違反していないか、検収等がされているか等)、③誤りがあった場合には、各課へ差し戻し、④支払い処理(窓口受領、納付書による納付、口座による振り替えなど)。 ・事業費は、主に支払等送金手数料。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
				総投入量 (千円)	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0	
					正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0	
					トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア 審査件数 件 イ 支払件数 件 ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・市の各課等、水道事業所、気仙広域連合、一部事務組合から提出された支出命令書等を審査し、指定された期日・方法で正当な債権者に支払った。			
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・公共料金の自動引き落としを導入予定 ・上記のほかは前年度実績と同様			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・支出命令書 ・支出命令書を起票する職員 ・債権者		名称 単位 カ 支出命令書の件数 件 キ 債権者数(延べ) 人 ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・関係法令に基づき、適正な予算の執行が確保されている。 ・正当な債権者に指定された期日、方法で正しく支払いをする。		名称 単位 サ 不適切な支出命令書の各課戻戻数 件 シ 債権者からの苦情、照会の数 件 ス 口座振替情報錯誤による更正件数 件	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
限られた財源が計画的に執行されている。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	単位							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,054	3,412	3,080	3,000	3,000	3,000
	事業費計(A)	千円	3,054	3,412	3,080	3,000	3,000	3,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3			
		延べ業務時間	時間	8,000	8,000	7,800	7,000	7,000	7,000
		人件費計(B)	千円	32,000	32,000	31,200	28,000	28,000	28,000
トータルコスト(A)+(B)		千円	35,054	35,412	34,280	31,000	31,000	31,000	
⑤ 活動指標		ア 件	113,938	102,663	93,106	100,000	100,000	100,000	
		イ 件	80,616	77,955	74,305	80,000	80,000	80,000	
		ウ							
⑥ 対象指標		カ 件	74,010	72,350	69,076	72,000	72,000	72,000	
		キ 人	74,010	72,350	69,076	72,000	72,000	72,000	
		ク							
⑦ 成果指標		サ 件	6,000	6,000	5,040	5,000	5,000	5,000	
		シ 件	36	36	36	30	30	30	
		ス 件	308	300	255	300	300	300	

事務事業ID	0733	事務事業名	審査支払い事務
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年の市制施行時より、地方自治法に基づき支払い事務を行っている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	事務事業評価の導入により、予算執行が事業単位に細分化されたために、件数が増加した。また、東日本大震災に関する復興関連事業の増加などにより支出命令書の件数、支払い件数は増加傾向にある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	業者の資金繰り事情により、指定の期日前に支払い要望があった場合は、柔軟に対応している。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 支出命令書等を適切に審査することにより、正当な債権者に正しく支払いを行い、もって効率的で健全な財政運営の一助となっている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地方自治法第232条の4第2項(支出負担行為の確認)/大船渡市財務規則第63条(支出命令の審査)により行われなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は大船渡市の各種会計、気仙広域連合、一部事務組合、水道事業会計等に係る支出命令書及び支出命令書を起票する職員、それに伴う正当な債権者であり、これらに対する適正な審査、正しく支出を行う意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 財務会計事務担当者研修の実施や、担当者への個別指導を随時行っているが、引き続き、機会あるごとに指導の強化を図り、成果向上を目指す。債権者からの照会はあるが、苦情の数はほとんどない。口座振替情報は登録を行っているため、その更正は債権者のミスによるものが多い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 関係法令に基づく事務事業であり、廃止・休止は有り得ない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費のほとんどが債権者への送金に係る手数料であり、公金の適正な取扱や債権者への利便性の向上の点から、必要な経費である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 支出基準の明確化・簡便化を推進し、審査時間の短縮を図る。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 本事業に受益者負担はない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む)  3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" data-bbox="1236 1747 1492 1971"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																			
公共料金の支払件数が多く、各課及び会計課の事務負担が大きいため、口座自動引き落としを今年度から導入する予定としている。																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む)  3 終了・廃止・休止	会計事務担当者の資質向上や事務効率化を不断に進め、成果の向上を図る。